

登米の力 とめのちから 登米の地から

登米地域観光セミナー「登米にインバウンドを呼び込む！」

地方振興部

平成31年3月7日に、登米地域観光セミナー「登米にインバウンドを呼び込む！」を登米合同庁舎で開催しました。これは、登米市内の観光事業者等がインバウンドの現状や外国人旅行者の嗜好・消費行動、今後の受入拡大に向けて必要な取組等について学ぶために開催したものです。

セミナーでは、株式会社インアウトバウンド仙台・松島の代表取締役である西谷雷佐氏、県経済商工観光部観光課の上席観光交流推進員である西村淳子氏に講演していただきました。

西谷氏からは、「持続可能な観光地域づくりに向けて、インバウンド実践に求められる思考法～」と題し、次のようなお話をいただきました。

- 地域の魅力の背景にある哲学や暮らしぶり、日常に価値がある、その意味と理由に注目する。
- 地域の魅力を「相乗効果」にし、掛け合わせる。素材を商品へ編集する編集力が大事。
- 「サービス＝無料、おもてなし＝無料」は日本の認識。キャッシュポイントを明確にし、ニーズに合わせた満足度の高い高単価、高付加価値の商品をつくる。
- インバウンド向けのPRでは、日本語をただ翻訳

するのではなく、ターゲットによって文脈を最適化し訴える。

- キーワードは「特別」と「本物」。今だけ、ここだけ、あなただけ。

西村氏からは、「外国人旅行者を惹き付ける“おもてなし”」と題して、日本航空(株)での勤務の経験を生かし、接客に関するポイントについて、次のような説明をいただきました。

- 外国人旅行者の日本人へのイメージは、丁寧、親切、礼儀正しい。実際に旅行した際の不満点では、無視されているように感じる、親切にされない。
- 一人の対応が日本全体のイメージに直結する。今はSNS等で悪い評判はすぐに広がる。
- 外国人旅行者への対応としては、何も特別なことはいらないので、相手に興味を持つこと、相手の要望をキャッチすること、まずは日本語でいいので、“笑顔”で話しかけることが大事。

参加者からは、話がわかりやすく参考になった、はっ！と気づかされるが多かった、笑顔の大切さが理解できたなどの感想をいただきました。

当事務所では、今後も継続して登米地域の観光分野の発展のため、尽力して参ります。



セミナーの様子（左：西谷氏の講演、右：西村氏の講演）

全国初の生鮮ホウレンソウの 機能性表示販売を開始しました！

農業振興部

豊里町有限会社三菜寿のちぢみほうれんそうが、平成31年1月16日付で消費者庁の機能性表示食品として全国で初めて登録されました。

機能性表示食品とは、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品のことです。このほうれんそうには、機能性関与成分のルテインが一般的なほうれんそうよりも約1.5倍多く含まれています。

ルテインは内側から目を守る働きや美肌にも効果があるとされています。

1月25日、26日に仙台三越とS-PAL仙台的の2カ所で販売会が開催され、試食した方からは、「甘くて美味しい」などの声が多数聞かれ、両日完売の大盛況となりました。



ちぢみほうれんそう



販売会の様子

畜産分野での省力化（株シュガーファームの事例から）

東部家畜保健衛生所

畜産分野では、以前から労働負担の軽減と経営の効率化が大きな課題となっていました。近年ロボットやICT（情報通信技術）を使った省力化が進みつつあります。

酪農経営の株シュガーファーム（中田町）では、平成28年度から畜産クラスター事業等による畜舎等の施設を導入し、経産牛（出産を経験した牛）の規模を拡大すると同時に、餌寄せロボットを導入しました。餌寄せロボットは、自動で飼槽に飼料を寄せ、いつでも牛が餌を食べられる環境を作ります。同農場では、ロボット導入前に比

べると年20日分以上の作業時間が短縮されています。また、省力化だけでなく、採食量の増加により乳量も増加し、残飼量も減りコスト節減に繋がるなど、収益性の向上にもつながっています。

同農場を実証モデルとして、畜産経営で省力化技術を有効に活用する経営が今後も増えていくことが望めます。



牛舎内部の様子



餌寄せロボット

登米地域の初期型ほ場整備再生計画を策定しました！

農業農村整備部

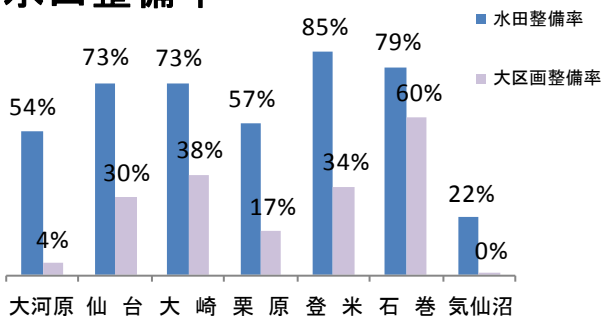
平成29年8月検討を始めた「登米地域の初期型ほ場整備再生計画」が、平成31年2月8日に策定されました。

登米地域は、水田整備率が85%と県内で最も整備が進んでいますが、30㌥区画で整備した初期型ほ場整備水田が多く、大区画（50㌥区画以上）の整備が決して高い状況ではありません。本

計画では、農地整備事業や農地中間管理機構を活用して、大区画ほ場等の耕作条件を整備しながら意欲ある担い手に農地集積、集約の促進を目指しています。

今後は、再生計画に基づく農地整備事業の実現に向けて、関係機関と協力して取り組んでいきます。

水田整備率



宮城県農村振興課調べ



検討会の様子

FSC認証広葉樹フローリングの製品化に向けて

林業振興部

登米市森林管理協議会が平成30年度から取り組んでいる林業成長産業化地域創出モデル事業の「先進的モデル事業」におけるFSC認証広葉樹製品化の一環として、静岡県浜松市のフローリングメーカー(株)マルホンと連携したFSC認証国産広葉樹無垢フローリング製品化への取組を支援しました。

FSC認証国産広葉樹を安定的に取引できるように協議を重ね、本格的な供給が可能となったことから、3月より製品化となりました。樹種はコナラ、ヤマザクラ、クリとし、登米市と岩手県岩泉町からFSC認証広葉樹材を供給することで、これまで困難とされていた一般商品化を実現することができました。



協議の様子



FSC認証国産広葉樹無垢フローリング（中田総合支所1階）

平成30年度登米管内災害時保健活動研修会

東部保健福祉事務所登米地域事務所

災害時保健活動において必要な知識や技術を習得し、対応力を向上させるため、災害時の住民避難先として設置される「避難所」に焦点をあて、被災者の二次的健康被害予防の視点で必要な支援のあり方についての研修会を開催しました。内容は、講話と演習としてグループワークを行いました。

講話では、「二次的健康被害を予防する避難所環境について」と題し、石巻赤十字病院の副院長植田信策氏から講演いただきました。植田氏からは、次のようなお話がありました。

- ・震災関連死調査の結果、避難所等における生活が要因となっていることが分かり、避難所の環境改善が関連死抑制に大変重要であること。
- ・避難所改善のカギは「TKB」と言われている。

「T (Toilet) : トイレ」

→迅速な供給・屋内設置・洋式など、清潔で安心できる対応。

「K (Kitchen) : キッチン」

→パンやおにぎりだけではなく、現地で調理した温かい栄養のあるものを。

「B (Bed) : ベッド」

→床に寝るのではなく、簡易ベッド（段ボール）を設置。

グループワークでは、3班に分かれて、災害時を想定した3つの課題について、それぞれ検討、各グループから発表が行われました。

参加いただいた方からは、このような研修の積み重ねが大切であり、「TKBの重要性」「平時から準備しておくことの大切さ」など、災害に備え大変勉強になったとの感想が多く寄せられました。



研修会の様子

<登米保健所からのお知らせ>

全国的に麻疹・風しんの発生が増加しています！

ゴールデンウィークなどは国内外の旅行の機会が増え、感染が拡大するおそれがあります。

麻疹・風しんには、予防接種が最も有効な予防方法といえます。罹患歴がなく、2回の予防接種歴が明らかでない場合は、抗体価検査や予防接種を検討してください。

みやぎウォーキングアプリを使って楽しく歩いてみませんか？

みやぎウォーキングアプリ
+15 WALK
~あと、1日、15分 (1,500歩) 歩く~

○宮城県は、メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合が全国ワースト3位。1日の歩行数は全国平均を大きく下回っています。

○第2次みやぎ21健康プランでは、1日の目標歩数を設定しましたが、目標に約1,500歩足りません。
(20~64歳男性 目標：9,000歩、H28：7,000歩)
(20~64歳女性 目標：8,500歩、H28：6,398歩)

○アプリを使って、気軽に楽しく、スマートなみやぎ健民を目指しましょう。

スマホに「ウォーキングアプリ」をダウンロードして
会員登録からスタート！

アルクト

App Store又は
Google Playで検索

豊里大橋橋梁耐震補強・補修事業

東部土木事務所登米地域事務所

一級河川北上川系旧北上川に架かる豊里大橋は、昭和45年5月に完成した橋梁です。完成から約50年が経過しており、床版の損傷が著しく、桁の劣化も確認されています。また、車両の大型化、交通量の増加に対して、耐震化・長寿命化が必要とされることから、橋桁の交換を実施しています。

工事の本格化に伴い、

「終日（昼夜連続）片側交互通行」 及び「大型特車通行止」

の規制を平成31年1月中旬より約2年間（予定）行い、現在工事を進めております。

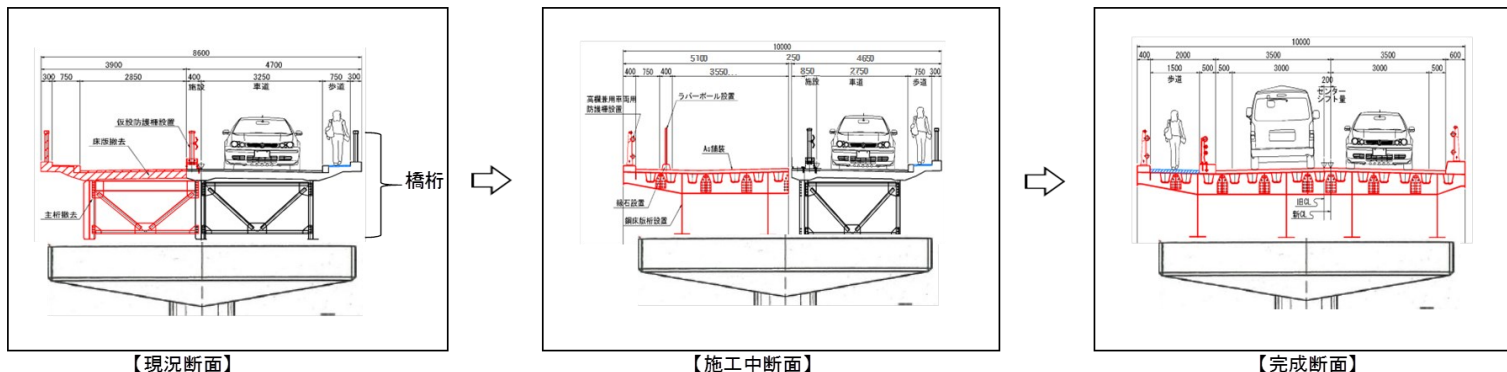
通過には時間がかかりますので、お急ぎの場合は三陸道等へのまわり道のご協力をお願い致します。

す。工事期間中は、大変ご不便をおかけすることになりますが、安全第一で工事を進めて参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。



豊里大橋（平成31年3月1日現在）

横断面図（施工手順イメージ）



位置図

平成31年1月11日発行/宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所（地方振興部）
〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字西佐沼150-5
TEL:0220-22-6123 FAX:0220-22-7522